

調査計画

1 調査の名称（☐特定一般統計調査 ☒その他の一般統計調査）

高齢社会対策総合調査（高齢者の経済生活に関する調査）

2 調査の目的

本調査は、高齢者の基本的な生活の状況、経済生活に関する状況を把握し、今後の高齢社会対策の施策の推進に資する基礎資料とすることを目的とする。

3 調査対象の範囲

（1）地域的範囲（☒全国 ☐その他）

（2）属性的範囲（☒個人 ☐世帯 ☐事業所 ☐企業・法人・団体 ☐地方公共団体 ☐その他）

60歳以上（令和6年10月1日現在）の男女

4 報告を求める個人又は法人その他の団体

（1）報告者数 4,000人（母集団の大きさ：約4,300万人）

（2）報告者の選定方法（☐全数 ☒無作為抽出（☐全数階層あり） ☐有意抽出）

・層化2段無作為抽出法

地域及び都市規模に層化し、各層の60歳以上人口数に基づき、調査地点数（200地点）を配分し、各層より調査地点を抽出する。抽出した各調査地点の住民基本台帳より20人を抽出する。

（詳細は別添1を参照）

5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

（1）報告を求める事項（詳細は調査事項一覧を参照）

①基本属性に関する事項、②基本的な生活に関する事項、③仕事に関する事項、

④経済的な暮らし向きに関する事項、⑤貯蓄、資産等に関する事項

〔集計しない事項の有無〕 ☒無 ☐有

（2）基準となる期日又は期間

調査票記入日現在（調査実施期間中の任意の一日）。ただし、次に掲げる事項を除く。

①基本的な生活に関する事項のうち、「この1年間で始めた学習活動」（この1年間）

②仕事に関する事項のうち、

- ・「1週間あたりの就業に数時間」（この1か月）
- ・「50代のころの働く様子」（報告者が50歳代のころ）

③経済的な暮らし向きに関する事項のうち、

- ・「1か月あたりの平均収入額」（この1か月）
- ・「1か月あたりの生活費」（この1か月）
- ・「1か月あたりに必要な生活費」（この1か月）
- ・「1年間の取り崩し平均額」（この1年間）

6 報告を求めるために用いる方法

（1）調査系統

内閣府 — 民間事業者 — 報告者

（2）調査方法

☒郵送調査 ☒オンライン調査（☐政府統計共同利用システム ☒独自のシステム ☐電子メール）

☐調査員調査 ☐その他（ ）

〔調査方法の概要〕

- ・内閣府の委託を受けた民間事業者が調査票の配布・回収・審査等実査業務全般を行う。
- ・民間事業者が報告者へ調査票を郵送し、報告者から郵送により回収する自計報告の方法で行う。
- ・民間事業者は、報告者が希望する場合には、オンラインによる提出が可能なように、セキュリティを確保したオンラインによる提出システムを構築し、報告者はオンラインにより提出することができる。

7 報告を求める期間

（1）調査の周期

☐1回限り ☐毎月 ☐四半期 ☐1年 ☐2年 ☐3年 ☒5年 ☐不定期 ☐その他（ ）

（1年を超える場合又は不定期の場合の直近の実施年：令和元年度）

（2）調査の実施期間又は調査票の提出期限

令和6年10月上旬～11月上旬

8 集計事項

別添2集計事項一覧のとおり。

9 調査結果の公表の方法及び期日

- (1) 公表・非公表の別 (☒全部公表 ☐一部非公表 ☐全部非公表)
- (2) 公表の方法 (☒e-Stat ☐インターネット (e-Stat以外) ☐印刷物 ☐閲覧)
- (3) 公表の期日 令和7年4月末までに公表

10 使用する統計基準等

- ☐使用する→☐日本標準産業分類 ☐日本標準職業分類 ☐その他 ()
- ☒使用しない

本調査は、全国から無作為抽出された60歳以上の男女を対象とした調査であり、調査対象の範囲の画定及び集計結果の表示に、統計基準を用いる余地がないことから、いずれの統計基準も使用しない。

11 調査票情報の保存期間及び保存責任者

- (1) 保存期間
 - ① 記入済み調査票：1年
 - ② 調査票の内容を記録した電磁的記録：永年
- (2) 保存責任者
内閣府政策統括官（共生・共助担当）付参事官（高齢社会対策担当）

高齢社会対策総合調査（高齢者の経済生活に関する調査） の標本設計について

標本設計の考え方

本調査においては、住民基本台帳を母集団として、地域、都市規模の区分別に層化し、無作為抽出する。詳細は以下のとおり。

1 母集団及び抽出方法

住民基本台帳を母集団とし、抽出は層化二段無作為抽出とする（調査地点における報告者の抽出は住民基本台帳より等間隔抽出法により行う。）。

2 調査対象者及び標本誤差・目標精度

全国の令和6年10月1日現在で、60歳以上の男女 4,000人

① 標本調査における標本誤差

標本調査から得られる結果には標本誤差（統計上の誤差）が伴い、各調査対象数の時の回答比率における標本誤差は、表1になる。

（単純無作為抽出で信頼区間95%の場合の標本誤差）

<表1>

（単位：%ポイント）

回答比率 調査対象数	5% (95%)	10% (90%)	20% (80%)	30% (70%)	40% (60%)	50%
50	±6.0	±8.3	±11.1	±12.7	±13.6	±13.9
100	±4.3	±5.9	±7.8	±9.0	±9.6	±9.8
200	±3.0	±4.2	±5.5	±6.4	±6.8	±6.9
300	±2.5	±3.4	±4.5	±5.2	±5.5	±5.7
384	±2.2	±3.0	±4.0	±4.6	±4.9	±5.0
500	±1.9	±2.6	±3.5	±4.0	±4.3	±4.4
1000	±1.4	±1.9	±2.5	±2.8	±3.0	±3.1
1500	±1.1	±1.5	±2.0	±2.3	±2.5	±2.5
2000	±1.0	±1.3	±1.8	±2.0	±2.1	±2.2
3000	±0.8	±1.1	±1.4	±1.6	±1.8	±1.8

【計算式】 $e = 1.96 \sqrt{p(100 - p)/n}$

e：標本誤差

n：調査対象数

p：回答の比率

② 高齢社会対策総合調査（高齢者の経済生活に関する調査）において求める調査対象数

今回の調査の目的は、高齢者の基本的な生活の状況、仕事に関する状況、経済的な暮らし向きの状況、貯蓄や資産等に関する状況を把握し、高齢社会対策の施策の推進に資することであり、都市規模による分析が重要となってくることから、都市規模を考慮して設計する。

都市規模別のクロス集計分析を行う場合の標本誤差の許容範囲を±7.0%に設定した場合、必要な都市規模別の有効回収数は約 200 となる。

過去の調査結果（※1）における有効回答数の割合を基に計算すると、一番有効回収数の割合が小さい「町村（人口 5 万未満）」規模において 200 を確保するためには、調査全体としては 2,000（200÷10%）の有効回収数を確保する必要がある。

有効回収率を 60%（※2）と仮定すると、少なくとも 3,333 の調査対象数が必要となるが、本調査は高齢者を対象とした調査であり、近年は高齢を理由（よく見えない、文字が書けない等）とした拒否、入院や施設への入所、本人の死亡等による調査不能が増えていることから、調査対象数を 4,000 に設定する。

※1 令和 5 年度の「高齢社会対策総合調査（高齢者の住宅と生活環境に関する調査）」（郵送調査 オンライン回答併用）の都市規模別の有効回収数の割合は、「東京 23 区・政令指定都市」23.6%、「人口 10 万人以上市」が 41.9%、「人口 10 万未満市」が 24.7%、「町村（人口 5 万未満）」が 9.7%となっている。

※2 直近の有効回収率である、令和 5 年度調査（66.9%）、令和 4 年度調査（60.4%）、令和 3 年度調査（60.9%）を参考に設定。

3 標本抽出

本調査は下記の方法で層化二段無作為抽出を行う。

調査対象数：4,000 人

地点数：200 地点

1 地点の調査対象数：20 人を抽出

① 層の設定

全国を＊地域と＊＊都市規模により 40 層（10 地域×4 人口区分）に層化する。

＊ 地域は、都道府県を単位として 10 区分に分類

＊＊ 都市規模は、大都市（東京都区部及び政令指定都市）、中都市（人口 10 万人以上の市）、小都市（10 万人未満の市）、郡部（町村）の 4 区分に分類

（注）都市は令和 6 年 1 月 1 日現在市制施行の地域、人口による都市規模の分類は、国勢調査による令和 5 年 1 月 1 日現在の人口による。

〔地域区分〕

全国の都道府県を単位として、次の 10 区分に分類。

北海道（1 道）	北海道
東北（6 県）	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東（1 都 6 県）	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北陸（4 県）	新潟県、富山県、石川県、福井県
東山（3 県）	山梨県、長野県、岐阜県

東海（3県）	静岡県、愛知県、三重県
近畿（2府4県）	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国（5県）	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国（4県）	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州（8県）	福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

〔都市規模区分〕

大都市	i) 東京都 23 区・政令指定都市
中都市	ii) 人口 10 万人以上の市
小都市	iii) 人口 10 万人未満の市
町村	iv) 郡部（町村）

② 調査地点数の配分

地区・都市規模別各層における母集団の大きさ（令和2年10月1日現在の国勢調査の60歳以上人口に基づく推定）により200地点を比例配分する。調査対象数が4,000であることから、各調査地点の調査対象数を20と設定。

③ 具体的な抽出方法

第1次抽出単位となる調査地点として、町丁目（国勢調査の小地域集計）を使用し、確率比例抽出法によって抽出する。調査地点が2地点以上割り当てられた層については、抽出間隔（層における該当人口の合計÷層で算出された地点数）を算出し、起点は乱数表により指定し、確率比例抽出法によって抽出する。また、層内での調査地点数が1地点の場合には、乱数表により無作為に抽出する。

抽出された調査地点の人口は、国勢調査の小地域集計で確認し、人口が少ない場合は、隣接する町丁目と統合し、1調査地点あたりの人口を調整する。

調査地点における対象者の抽出は、住民基本台帳より等間隔抽出法によって抽出（起点は乱数表により指定し、60歳未満が当たった場合にはその人は飛ばして、直近の者ではなく、等間隔の次の者を抽出。例：5間隔ならば、6人目に行くのではなく、10人目、15人目・・・と飛んでいく。）する。

高齢社会対策総合調査（高齢者の経済生活に関する調査） 調査事項一覧・集計事項一覧（クロステーブル）

●：クロス集計アウトプットする表(予定) (■記号の意味 N：全数、n：該当標本数 S：シングルアンサー、M：マルチアンサー、C：ブランクを許すシングルアンサー、D：ブランクを許すマルチアンサー)

[illegible]

<表側のブレイクダウン（案）>

全体	
F1 性別	男性
	女性
F1 性×F2 年齢別	
男女計	60~64 歳
	65~69 歳
	70~74 歳
	75~79 歳
	80~84 歳
	85~89 歳
	90~94 歳
	95 歳以上
	65~74 歳（再掲）
	75~84 歳（再掲）
男性	85 歳以上（再掲）
	75 歳以上（再掲）
	65 歳以上（再掲）
	60~64 歳
	65~69 歳
	70~74 歳
	75~79 歳
	80~84 歳
	85~89 歳
	90~94 歳
女性	95 歳以上
	65~74 歳（再掲）
	75~84 歳（再掲）
	85 歳以上（再掲）
	75 歳以上（再掲）
	65 歳以上（再掲）
	60~64 歳
	65~69 歳
	70~74 歳
	75~79 歳
F1 性×F3 現在の結婚状況	
男女計	配偶者あるいはパートナーがいたことがない
	現在、配偶者あるいはパートナーがいる
	配偶者あるいはパートナーとは離別している
	配偶者あるいはパートナーとは死別している
	不明・無回答
	配偶者あるいはパートナーがいたことがない
	現在、配偶者あるいはパートナーがいる
	配偶者あるいはパートナーとは離別している
	配偶者あるいはパートナーとは死別している
	不明・無回答
男性	配偶者あるいはパートナーがいたことがない
	現在、配偶者あるいはパートナーがいる
	配偶者あるいはパートナーとは離別している
	配偶者あるいはパートナーとは死別している
	不明・無回答
	配偶者あるいはパートナーがいたことがない
	現在、配偶者あるいはパートナーがいる
	配偶者あるいはパートナーとは離別している
	配偶者あるいはパートナーとは死別している
	不明・無回答
女性	配偶者あるいはパートナーがいたことがない
	現在、配偶者あるいはパートナーがいる
	配偶者あるいはパートナーとは離別している
	配偶者あるいはパートナーとは死別している
	不明・無回答
	配偶者あるいはパートナーがいたことがない
	現在、配偶者あるいはパートナーがいる
	配偶者あるいはパートナーとは離別している
	配偶者あるいはパートナーとは死別している
	不明・無回答
F4 同居者	
1	同居者はいない（ひとり暮らし）
	2 配偶者あるいはパートナー
	3 親（配偶者あるいはパートナーの親を含む）
	4 子（子の配偶者あるいはパートナーを含む）
	5 その他（親族以外も含む）

（別掲）配偶者あるいはパートナーとの2人暮らし（仮）	
6	不明・無回答
	あなたを除く同居者の人数 □人
F5 現在の住まい	
1	持家（一戸建て）⇒ 1 か月のローン返済額
	2 持家（分譲マンション等の集合住宅）⇒ 1 か月のローン返済額
3	賃貸住宅（一戸建て）⇒ 1 か月の家賃
	4 賃貸住宅（民営のアパート、マンション）⇒ 1 か月の家賃
5	賃貸住宅（公営・公社・UR 等の集合住宅）⇒ 1 か月の家賃
	6 その他
7	不明・無回答
	1 か月あたりの住宅ローン（家賃額 回答を見て実際のカテゴリー数を判断する）
F6 ネットショッピング等をどの程度利用しているか	
1.	週に1回以上
	2. 月に1回以上
	3. 年に数回
	4. ほとんど利用していない
	5. 全く利用していない
	6. 不明・無回答
F7 キャッシュレス決済をどの程度利用しているか	
よく使う 2.たまに使う 3.使わないから選択	
イ) クレジットカード（注1）	
ロ) バーコード、QRコード決済（注2）	
ハ) 電子マネー（注3）	
ニ) その他（イ～ハを除く）	
注1）デビットカード含む	
注2）Paypay,LINEPay 等	
注3）Suica,ICOCA,WAON,nanaco,楽天 Edy 等	
※ 都市規模	
大都市（東京 23 区・政令指定都市）	
中都市（人口 10 万人以上の市）	
小都市（人口 10 万人未満の市）	
町村	
※ 地域	
北海道・東北	
関東	
中部（北陸・東山・東海）	
近畿	
中国・四国	
九州	
問 1 生きがいを感じるか	
1	十分感じている
	2 多少感じている
	3 あまり感じていない
	4 全く感じていない
	5 不明・無回答
問 2 現在の健康状態	
1	良い
	2 まあ良い
	3 普通
	4 あまり良くない
	5 良くない
	6 不明・無回答
問 3 現在の認知機能	
イ)	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがある と言われますか
	ロ) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか
ハ) 今日が何月何日かわからない時がありますか	
問 4 現在、何らかの社会的な活動を継続的にを行っていますか	
1.	就労・就業
	2. ボランティア活動
	3. 地域社会活動（町内会、地域行事など）
	4. 趣味やおけいこ事

5.	特に活動はしていない
	6. 不明・無回答
問 6 学習・自己啓発・訓練のうち、仕事に役立てることなど目的として行ったもの	
1.	英語
	2. 英語以外の外国語
	3. パソコンなどの情報処理
	4. 商業実務・ビジネス関係
	5. 介護関係
	6. 家政・家事（料理・裁縫・家庭経営など）
	7. 人文・社会・自然科学（歴史・経済・数学・生物など）
	8. 芸術・文化
	9. その他
	10. いずれも行っていない
	11. 不明・無回答
問 7 現在、収入を伴う仕事をしているか	
1.	現在、定期的に収入を伴う仕事をしている
	2. 現在、不定期ではあるが、収入を伴う仕事をしている
	3. 現在、収入を伴う仕事はしていないが、今後したいと考えている
	4. 現在、収入を伴う仕事はしておらず、今後もするつもりはない
	5. 不明・無回答
問 11 現在の収入を伴う仕事に満足しているか	
1	満足している
	2 やや満足している
	3 どちらともいえない
	4 やや不満がある
	5 不満がある
	6 不明・無回答
問 12 収入を伴う仕事をしている主な理由	
1	収入のため
	2 仕事が面白いから
	3 自分の知識・能力を生かせるから
	4 仕事を通じて友人や仲間を得ることができるから
	5 働くのは体によいから、老化を防ぐから
	6 不明・無回答
問 16 何歳ごろまで収入を伴う仕事をしたいか。	
1	65 歳くらいまで
	2 70 歳くらいまで
	3 75 歳くらいまで
	4 80 歳くらいまで
	5 働けるうちはいつまでも
	6 仕事をしたいとは思わない
	7 不明・無回答
問 17 経済的な暮らし向きについて	
1	家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている
	2 家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている
	3 家計にゆとりがなく、多少心配である
	4 家計が苦しく、非常に心配である
	5 その他
	6 不明・無回答
問 23 預貯金の取り崩しについて	
1	よくある
	2 時々ある
	3 ほとんどない
	4 全くない
	5 不明・無回答
問 26 お金に困った際に相談できる相手はいるか	
1	家族・親族
	2 友人・知人
	3 近所の人
	4 職場の人
	5 自治体や福祉関係機関等（地域包括センター、社会福祉協議会、民生委員、ケアマネジャー等）
	6 弁護士、司法書士等
7	その他

8	相談できる相手はいない
	9 お金に困った際に誰かに相談はしない
10 不明・無回答	
問 30 金融資産の総額について	
□万円（回答を見て実際のカテゴリー数を判断するが、10 カテゴリー程度を想定している）	
問 35 認知機能の低下に伴う財産管理について	
1.	自分の財産なのであくまで自分で管理する
	2. 配偶者あるいはパートナーに財産管理を委ねる
	3. 子や他の親族に財産管理を委ねる
	4. 社会福祉協議会やその他の民間事業者等による金銭管理サービスを利用する
	5. 成年後見人・弁護士など信頼できる第三者に財産管理を委ねる
	6. その他
	7. わからない
	8. 不明・無回答
注）実際の回答数によっては、一部の区分で統合又は廃止する場合がある。	